

中国で自動化機器生産

搬送機・組み立て機

NKE、車関連取り込む

売上高3倍 6億円目指す

【京都】NKE（京都府長岡京市・中村道一社長、075・955・0071）は、中国・

広東省広州市に新設した生産子会社で、コンベヤー搬送機など自動化機器の本格生産を始めた。現地の自動車関連工場などで自動化ニーズが高く、拡大する需要を獲得するために自前の生産体制が不可欠と判断した。中国事業の2019年3月期売上高は前期比3倍となる6億円を見込む。

生産会社は「基恩科（広州）自動化設備」。12年設立の販売子会社「広州中村機器自動化」の100%出資子会社。NKEとし

ては初となる自前の海外生産拠点で、販売子会社と同じ広州市花都区に4月に設立、8月に稼働した。規模は製販合わせて15人。製造技術の日本人スタッフをこのほど1人増やし、2人体制にした。まず現地の協力会社に委託している標準的な搬送機器や自動組み



中国・広東省で稼働した自動化機器の生産子会社

立て機の生産を手がける。今後は販社とともにマーケティングを強化、華南や上海の日系やローカルの顧客企業の要望に合った現地仕様製品も開発、生産していく。また、中国市

場向け機器のほか、日本向けの切削部品も生産する計画。日本向けの部品供給拠点としても活用し、同部品のコスト低減も狙う。当面は日本国内向けの部品の10%程度を中国で生産する計画。

NKEは搬送や組み立てなど自動化機器が主力で、18年3月期売上高は約24億円。中国ではメンテナンスなどを行ってきたが、自動車関連工場などで拡大する自動化ニーズの本格開拓に向け、現地生産を強化する。